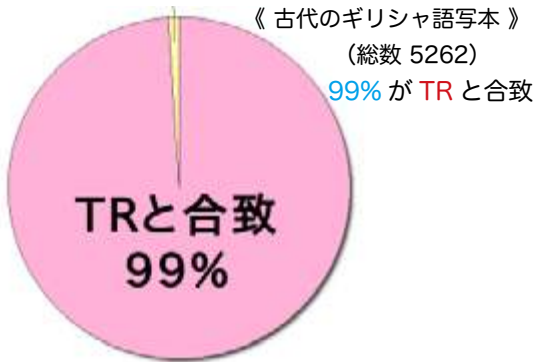


《新約聖書本文 TRの流れ》

手書きの原本（新約：紀元 50 年～ 95 年頃）
 マグダレン写本…世界最古の写本
 （紀元 66 年 TR と合致）
 古ラテン語聖書（150 年頃 TR と合致）
 古シリア語聖書（150 年頃 TR と合致）
 ワルドー派の聖書（TR と合致）
 聖句集（400 年頃～ 100% が TR と合致）



(1) 手書きの新約聖書原本 / 原文



(2) 本文が書き写された数多くの写本



(3) 新約聖書のギリシャ語本文 TR



(4) TR 本文から翻訳された新約聖書



《宗教改革》

エラスムスによる TR の編纂 1516, 1522 年
 ステファヌスによる TR の編纂 1550 年
 ベザによる TR の編纂 1598 年
 エルセビル兄弟による TR の編纂 1624, 1633 年
 スクリブナー博士による TR の編纂 1881 年

《諸外国版 TR 聖書》

ルターの「ドイツ語 新約聖書」(TR 翻訳) 1522 年
 ティンダルの「英語 新約聖書」(TR 翻訳) 1526 年
 「カバデール訳聖書」(TR 翻訳) 1535 年
 「マシュー訳聖書」(TR 翻訳) 1537 年
 「大聖書」(TR 翻訳) 1539 年
 「ジュネーブ聖書」(TR 翻訳) 1560 年
 「ビショップ聖書」(TR 翻訳) 1568 年
 「キング・ジェームズ版聖書」(TR 翻訳) 1611 年
 諸言語版 TR 聖書 1811 年～

《日本語版 TR 聖書》

★ 「明治元訳 新約聖書」
 (TR 翻訳 1880 年、2012 年復刻)
 ★ 「新契約聖書」(TR 翻訳 旧版 1928 年、
 修正改版 1960 年 森溪川師発行 2012 年復刻)
 ★ 「新約聖書」(TR 日本語訳 2014 年発行)

《新約聖書本文 TR の流れ 概略》

(1) マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、パウロ、ヤコブ、ペテロらがギリシャ語で手書きしたものが、新約聖書の**最初の原文**でした。ただし、初めから一冊の新約聖書としてまとめられていたのではありません。

(2) 各書物の原文を、多くのクリスチャンたちがパピルス紙などに書き写して、**写本**（巻物や断片など）が作られました。さらに写本を書き写した写本も、さらにその写本も数多く作られ、聖書は世界各地に伝えられていきました。

ところが、写本の巻物や断片が数多く存在しても、それぞれの内容は新約聖書の一部であったため、全 27 巻の一冊の「新約聖書」として確立することが必要となりました。

手書きの原本（新約：紀元 50 年～ 95 年頃）

古代のギリシャ語写本（99% が TR と合致）

マグダレン写本…世界最古の写本（紀元 66 年 TR と合致）

古ラテン語聖書（150 年頃 TR と合致）、古シリア語聖書（150 年頃 TR と合致）

聖句集（400 年頃～ 100% が TR と合致）

(3) 1516 年、オランダ人エラスムスが世界で初めて一冊のギリシャ語新約聖書という形にしました。

1624 年、この聖書本文は、**Textus Receptus**（テクストゥス・レセプトゥス『Received Text』すなわち、『神から受け入れられた本文』の意）という名称を与えられました。

(4) この新約聖書本文 TR から**翻訳**されてできたのが、宗教改革者のルターによる「ドイツ語新約聖書」、殉教者ティンダルによる「英語聖書」、イギリスの国家的取り組みによる「キング・ジェームズ版聖書」（King James Version 1611 年）などです。

日本語訳では、「**明治元訳 新約聖書**」と「**新契約聖書**」と「**TR 日本語訳 新約聖書**」です。

《日本語版 TR 聖書》

★「明治元訳 新約聖書」（TR 日本語訳 1880 年、2012 年復刻）

★「新契約聖書」（TR 日本語訳 旧版 1928 年、
修正改版 1960 年 森溪川師発行、2012 年復刻）

★「新約聖書」（TR 日本語訳 2014 年発行）

TR は現代に受け継がれ、すでに世界 100 ヶ国以上で読まれる聖書として約 40 の言語で刊行されており、現在も約 20 の言語の聖書の翻訳が進められています。

新約聖書本文 TR は、99% 以上の写本と合致しています。

神はエラスムスらを導かれ、その 99% 以上の写本と合致する聖書本文を TR として集大成させました。

TR が、神が歴史を通じて保持してこられた聖書本文です。

《ギリシャ語の写本》

（総数 5262）

99% が TR と合致



《エラスムス》



《ルター》



《ティンダル》

新約聖書 《TR 日本語訳》

■全一巻：A5 版。ルビなし。文字サイズは全三巻より小さめです。表紙カラーは、「全一巻」はライトグレー、「全一巻 ピンク」はライトピンクです。

■全三巻（三分冊）：A5 版。一部ルビ付。文字は全一巻より大きめです。

TR 日本語訳「新約聖書」を心よりおすすめします。

エターナル・ライフ・ミニストリーズ
〒734-8691 広島市宇品郵便局私書箱 20 号

www.eternal-lm.com

mail@eternal-lm.com FAX:082(252)8889



聖書と TR の詳細は、「聖書の歴史」（ホームページで公開）、
《聖書のホームページ》www.bible-jp.com をご覧ください。

■オリゲネス作成の「ギリシャ語新約聖書」



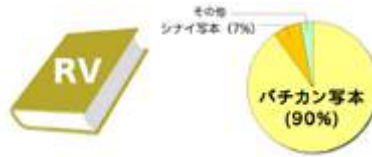
《オリゲネス》



■エウセビウスの50冊の「聖書」(331年) (バチカン写本・シナイ写本の誕生)



■聖書本文 RV の誕生 (1881年) (バチカン写本・シナイ写本の復活)



■RV・バチカン写本・シナイ写本から派生した本文と現代版聖書



■カトリックの監督下となった現代版聖書 (1968年～)

■ネストレ-アーラント版/UBS 版本文に基づく全聖書

NASV 聖書	NIV 聖書	NKJV 聖書	NRSV 聖書	ESV 聖書	HCSV 聖書
...
...

《聖書本文 RV・バチカン写本の流れ 概略》

(1) **オリゲネス**：彼は広範囲に旅をし、どこでも彼がギリシャ語の新約聖書を見つけると、それを彼の教理にぴったり合うように改ざんしました。オリゲネスは次のことを信じていました。

彼は、「万人が救われることになる」と信じていました。すなわち、サタンおよび悪霊どもを含めて、すべてのものが最終的には和解されること、です。

彼は、「イエスは一人の被造物にすぎない」と信じていました。彼は、「人は罪のない者となるために、煉獄(れんごく)に行かなければならない」と信じていました。

彼は、「前世からの生まれ変わり」および「カルマ」を信じていました。すなわち、人のたましいは、この現在の地上に存在するより前に、別の世界で先に存在しており、その前世からの祝福あるいは呪いを持ち込んだこと。彼は、「バプテスマを受けない幼児は地獄に行く」ことをほめかしました。

オリゲネスは、イエス様の言われたことを正すことさえしました。マタイ 13:38 にある「種を蒔く人」のたとえの箇所、イエス様は、「畑とは、この世です」と言っておられます。ところが、オリゲネスは、「畑とはイエスであった」と言いました。その後、彼は考えを変えて、畑を「聖書のことだ」としました。

彼は、「聖書は、文字通りに解釈するものではない」と信じていました。(オリゲネスは、「寓話的解釈の父」でした)

彼は、実際に「アダム」が存在したことも、「人間の墮落」も信じていませんでした。…(詳細はホームページ参照)



《オリゲネス》

(2) **エウセビウス**：彼はアリウス派(異端)であり、アリウスの友人でもありました。アリウスは、イエスは肉において来られた神ではないと信じていました。すなわち、イエスは一人の被造物にすぎないと信じていたのです。

331年、エウセビウスが50冊の聖書を作りしました。エウセビウスは、オリゲネスこそ最も偉大な人物だと考えていました。彼はオリゲネスの手紙を800通収集し、オリゲネスの編集した新約聖書を使って完成させました。

■「**バチカン写本とシナイ写本**…それは、エウセビウスが331年からコンスタンティヌスのために自らが監督して作った、あの最初の50冊の聖書写本のうちの現存する二つの大文字写本です」(フロイド・ノレン・ジョーンズ博士)

■ジャスパー・J・レイ師(聖書教師、宣教師)は次のように述べ、七つの参照箇所を紹介しています。

「聖書本文の権威者たちは、『シナイ写本とバチカン写本は、紀元331年にエウセビウスによりコンスタンティヌスのために作られた50冊のギリシャ語聖書のうちの二つの現存写本である』と信じています」



■David Otis Fuller博士は次のように述べています。「バチカン写本とシナイ写本が保存されてきたのは、おそらく、それらがペラム皮紙(高級皮紙)に書かれたからです。ただし、当時のそれ以外のほとんどの書物はパピルス紙に書かれました。ティッシェンドルフ(シナイ写本の発見者)およびホート(RV本文の作成者)を含めて、多くの学者が、このバチカン写本とシナイ写本は、エウセビウスがコンスタンティヌスの下で、コンスタンチノーブルの諸教会での使用のために用意した、あの50冊の写本のうちの二つであると考えています」

(3) **聖書本文 RV の誕生**(バチカン写本・シナイ写本の復活)：

1881年、TRとは根本的に異なるギリシャ語本文RVが作成されました。

■「聖書本文RVの90パーセントは一語一語がそのまま**バチカン写本**からのものであり、残りの10パーセントのうち、約7パーセントはシナイ写本からのものです」(フロイド・ノレン・ジョーンズ博士)

■「このギリシャ語本文は、おもに**バチカン写本**およびシナイ写本に従っています」(ジャスパー・J・レイ博士ほか)

■「ホートは**バチカン写本**を**権威の座**へと高めました」(F.G. ケニヨン博士)

■「ウェストコットとホート(RV作成者)が**バチカン写本**を**過大評価**したからです。ティッシェンドルフ(シナイ写本の発見者)がシナイ写本を重要視しすぎた一方で、ウェストコットとホートは**バチカン写本**を**最高位**に置いているのです」(フィリップ・シャッフ博士)

■「バチカン写本の中のページが欠けている場合、ホートはシナイ写本を使いました。ホートとウェストコットは、この二つの写本の読み方が一致する場合は、その読み方を『使徒的なもの』として受け入れるべきだとみなしたのです。…

ウェストコットとホートの本文(RV)は、**実質的に、すべてバチカン写本**なのです」(ジャスパー・J・レイ師およびホスキアー師)

(この続きは、「聖書の歴史 E2～」をご覧ください。《聖書のホームページ》www.bible-jp.com)

